

## 花巻市廃棄物減量等推進審議会会議録

日 時 平成28年3月8日(火) 午前9時30分～10時45分

場 所 花巻市役所本庁舎 302・303会議室

出席者 委員出席16名 林 俊春委員、高橋文一委員、岩淵満智子委員、照井富貴子委員、今野秀實委員、熊谷貞夫委員、下坂誓子委員、山影儀夫委員、三浦庸子委員、柏崎吉光委員、伊藤幸人委員、伊藤二郎委員、佐々木孝雄委員、菅原重子委員、佐藤健一郎委員、日下明久美委員

委員欠席者4名 川村茂委員、秋本和宏委員、高橋マサ子委員、岩館昌子委員

市側出席者9名 上田市長、熊谷市民生活部長、清水生活環境課長、高橋上下水道課長、山口生活環境課長補佐、高橋清掃センター副所長、松原生活環境課資源循環係長、八重樫主査、富松主事、株式会社日本環境工学設計事務所 井上里志

報道機関 1名

傍聴者 0名

### 次 第 1 開 会

#### 2 市長挨拶

#### 3 諮 問

第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）及び第2次花巻市一般廃棄（し尿）処理基本計画（案）について

#### 4 会長挨拶

#### 5 報 告

(1) パブリックコメントにおける意見募集結果について

#### 6 審 議

(1) 第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について

(2) 第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画（案）について

#### 7 答 申

#### 8 閉 会

### 1 開 会

(事務局:山口補佐)それではただいまから花巻市廃棄物減量等推進審議会を開会致します。はじめに上田市長よりご挨拶申し上げます。

### 2 市長挨拶

(上田市長) 春めいてきて暖かくなり今年は暖冬でございましたけれども、ただ、これからまた少し寒くなっていくようでございます。その中で花巻市の除雪費でございますが、例年に比べ、雪が少ないということで、市にとってはありがたいことでございますが、除雪業者の方々には大変、苦勞をおかけする次第でございます、その点は申し訳ないと思っております。今日は花巻市廃棄物減量等推進審議会ということで、皆様にはお忙しい中お集りいただきまして、大変ありがとうございます。このごみとし尿を処理するという点については、花巻市の生活環境を守るということで非常に重要なことでございます。一方、市民の金銭的な市を通しての資金負担についても非常に大きいことでございます。これについてもごみの減量化を図っていくとともに、減量化に伴って処理コストを下げっていく必要があるわけでございます。今後10年間の計画を作ってください、その中で今申し上げた減量化、あるいはコストの削減を図っていきたく思います。そのような意味で、今回の花巻市廃棄物減量等推進審議会の皆様に諮問申し上げるこの10年間の計画は大変、重要な計画でございます。忌憚のないご意見をいただき、すばらしい計画になるように皆様をお願い申し上げたいと思います。よろしくお願ひ致します。

### 3. 諮問

(事務局：山口補佐) 続きまして花巻市廃棄物減量等推進審議会条例第2条に基づき、一般廃棄物の適正処理、減量化および資源の再利用の促進に関する事として、第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）及び第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画（案）につきまして市長から諮問させていただきます。上田市長、柏崎会長、その場にてご起立ください。それでは上田市長から柏崎会長へ諮問書を手渡ししてください。

(上田市長) 第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）及び第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画（案）について諮問させていただきます。審議会のご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

(事務局：山口補佐) ありがとうございます。ここで、市長は所用がございますので退席いたします。

(上田市長) では、よろしくお願ひいたします。

～上田市長、退席～

### 4 会長挨拶

(事務局：山口補佐) 続きまして、花巻市廃棄物減量等推進審議会柏崎会長にご挨拶をお願いいたします。

(柏崎会長) 皆さん、このところ肌寒い日が続いております、そのような中、第2回花巻市廃棄物減量等推進審議にご出席いただきましてありがとうございます。ただいま市長から諮問いただきました。また、2月17日の第1回審議会では皆様方から大変貴重なご意見およびご質問をいただきまして、この第2回目に臨んでおります。どうか、今日は限られた時間の中、答申しなければなりません。その辺もご配慮願いまして、今日の審議会を有意義なものとするために、活発なご意見、ご質問をお願いいたします。より良い答申としたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。以上をもちましてご挨拶に代えたいと思っております。

## 5 報 告

(事務局：山口補佐) ありがとうございます。審議に入る前に本日の審議会は、委員の過半数の出席をいただいておりますので、花巻市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項の規定により会議が成立していることをご報告申し上げます。なお本審議会につきましては花巻市審議会等の公開に関する指針に基づき、会議を公開しておりますのでご了承承願いたします。それでは花巻市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項により会議の議長を柏崎会長をお願いいたします。

(柏崎会長) でははじめに、会議録署名委員の指名についてであります、花巻市廃棄物減量等推進審議会運営要項第7の2項の規定によりまして、会長が指名することとなっておりますので、ご指名いたします。お名前を申し上げますので、よろしくをお願いいたします。本日の会議録署名委員は、照井富貴子委員と今野秀実委員の2名の方をお願いいたします。よろしくお願い致します。

次は報告の事項に入ります。次に、報告第1、パブリックコメントにおける意見募集結果について事務局よりご説明をお願い致します。

～ (事務局：清水課長) パブリックコメントにおける意見募集結果について説明 ～

(柏崎会長) ありがとうございます。ただいま事務局からパブリックコメントについてご説明がありました。これについて、皆さんからのご質問をお受けします。ご質問のある方、本日、初めてご出席いただいた方もおられますのでお名前など最初によりしくお願いいたします。ご質問はございませんか。ご意見、ご要望等ございましたらお願いいたします。質問はないようですので、パブリックコメントにおける意見募集結果について、を終わります。

## 6 審 議

(柏崎会長) それでは審議に入ります。審議(1)第2次花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)について、事務局からお願いします。

～（事務局：清水課長）第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について説明～

（柏崎会長）ありがとうございます。ただいま第1回審議会でのほとんどの方のご意見がございまして、それに対する市の考え方を説明していただきました。それでは、第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）に対する審議に入りたいと思います。皆さんのご忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

（林委員）ただ今事務局から素案の修正はないとお話でした。私もそう思うんですけども、もうちょっと事務局にお聞きしたいことがございます。結論としては、素案の最後、ISO14001環境マネジメントシステムの乗っ取って、特にチェックについてですが、5W2Hのところですが、誰がいつまでに何をどのように等を明確にして実施しないと、物事が進まない。紙に書いただけで10年経過して再び反省ということになるのではないのでしょうか。1年ごとに見直すとなっていますので、誰の責任で実施するのか、最終的には市長の責任となると思いますが、市長の下で民間だと会社社長とすれば、社長の下に環境管理責任者を設け、実施すると思います。目標達成のため、環境管理責任者は誰で、いつまでに、どのような方法で実施するのか、どのように（HOW）とか、どこで（WHERE）とかが具体的に、もう少し噛み砕いて書かれていれば、計画が目標により近づけるような素案になるのではないかと思います。そのあたりを事務局にお聞きします。

（柏崎会長）事務局、前回の冊子の56ページの計画の進行・管理という部分で、もしご意見がございましたら。

（事務局：清水課長）今、林委員さんからお話しいただきました内容につきましては、確かに計画の進行管理について、具体的な表のような形でやりますという記述はしてありませんでして、おっしゃるとおりでございます。今回の基本計画につきましては、今後の基本方針を定めながら、実際に施策もこのような形でやっていきますということをお示ししています。ロードマップということもございますが、本計画の方には記載していません。ただし、削減目標の達成のためにはロードマップの必要性については当然、重要であるとの認識を致しております。ロードマップに代わるものを事務局サイドとしては、この計画を策定するに当たり年度ごとのごみ減量目標を立てているところでございます。ですので、そのごみの排出量等を推計したものをロードマップと同じように施策といっしょに進行管理していきたいと考えております。年度ごとのごみ減量に係る目標値につきましては、こちらの計画では10年後の数値しか載せてございませんが、内容につきましては各年度の積み上げになって参りますが、この一般廃棄物処理基本計画の上位計画の中に、環境基本計画がございまして、本年度、策定したものがございます。その環境基本計画の中のごみ

減量の成果指標に同じ数値を載せておりました、市では毎年度、前年度において計画に基づいて市が行った施策を成果ということで実施状況を確認しなければならない訳でございます。点検評価を行うことを考えておりますので、その環境基本計画と同様に、成果と進捗度につきましては、環境審議会の方に市でまとめた結果を報告し、ご意見を伺いたいと考えているところでございます。さらに、この廃棄物減量等推進審議会の中には、公衆衛生組合連合会さんとか廃棄物処理組合さんが委員として入っていただいておりますが、毎年度、組合さんとは定期的に話し合いの機会を持つことを考えているところでございまして、その話し合いの中で現状をお知らせさせていただいて、実践的取り組みについて協議していきたいと考えています。いずれにしても、この基本計画の中には、ロードマップ的なものは記載しないということでございます。

(事務局：熊谷市民生活部長) 実際の施策評価については、市全体で様々な分野で施策がございまして、それぞれを市の中で振り返りしながら、次年度に向けた評価というものを実際に行っていますので、その中で、この部分についても評価させていただきながら、それぞれの年度目標の達成状況や今後の課題、今後の取り組み等を検討させていただいて、それらをホームページ等で公表し、ご意見をいただくということを考えております。

(柏崎会長) 林委員、市の方から説明がありましたが。

(林委員) 計画には載せないがマップ、プラン的なものを組んで経過を見ていくということですが、これは、やらなければならないことだと思いますし、これはホームページで公表して進めていきますと。残念なのは、その目標に向かってどのような方法で22%減量するのか、連合会さんの意見やお手伝い等について伺わないと、計画を段取りしていくのは難しいということかなということをお先ほど課長さんから伺いました。一人でやることではなく、市全体でやることなので、その辺のことを煮詰めて、10年で22%減量、平均年2%の減量するためには、その辺をしっかりやらないと10年目には22%にはならない。しっかり詰めて、10年で22%減量のためどのような施策していくのかということをしっかりやっていただきたいと思います。先日、朝日新聞に出ていた情報を申し上げますと、静岡県富士市では、ごみの減量は30%から50%可能とのこと。どうしてかという燃えるごみの中には紙が最大50%程度含まれているということです。それに対して市では、燃えるごみと、燃えないごみの2通りに分けているだけです。ごみ減量するなら燃えるごみの中の紙というジャンルに着目し、30%減量するんだという具体的な話でないとか霧に包まれたような状況では10年で20%減量はできないだろうと思います。今、富士市のお話をしましたが、COP21に基づくCO<sub>2</sub>削減のこともあり、今年あたりから、地球温暖化の問題で、行政が国から責め立てられるだろうと思います。総理大臣から環境大臣をはじめ国全体として積極的に推進するので、花巻市も覚悟を持って、

真剣に取り組んでいただかないといけないと思います。以上です。

(柏崎会長) 貴重なご意見でございます。進行管理に入るかわからないが、市の方では、課長から説明があったとおり、年度の終わりには、必ず、1年ごとに数値を出す。もうひとつ、平成28年度には花巻市全体の中で、サンプル、モニターとして家庭のごみに関し水分を切って重量を計る等、モニターもやる予定にしています。これも進行管理ではないかと思えます。その他にご質問のある方は。

(日下委員) 紙を資源化するというお話ですが、紙を資源として処理する受入体制は整っているのか教えてほしい。

(柏崎会長) 日下委員から重要なお尋ねがありました。いかがでしょうか。

(清水生活環境課長) 一つは、地域で取り組んでいただいているのが集団資源回収です。回収にあたりましては、収集業者さんに持ち込むか、持って行っていただくか、という形で取り組んでいただいておりますので、収集業者さんでは受入は可能と思えます。さらには、今、スーパーさんでも店頭で受入を行っている状況にあります。地域で集団資源回収する場合は、どこかにストックヤードがないと難しいという話もありまして、そのような制約がある場合には、スーパーさんに持ち込んでいる方もおられるようでございます。従いまして、紙が燃えるごみに回らないように常に分別して資源に回していただくように心がけていただきたいと思います。

(高橋文一委員) 捕捉させていただきたいのですが、どのような紙でもリサイクルできる訳ではないという実情もあります。全国的に見ると鼻をかんだり紙でもでもやれますという業者もいますが、やれない業者もあります。そういう問題もありますので、何でもリサイクルできるという訳ではなく、紙によっては受けられるものと受けられないもの、あるいは業者の事情により受け入れられるもの、受け入れられないものがあるということをご理解ください。

(柏崎会長) 貴重なご意見、ありがとうございます。日下さん、参考にしてください。理水さん、何かご意見ありませんか。

(今野委員) 皆さんが努力して減量化を進めていることは大切なことですが、事業系ごみを配っている業者さんとしては、できるだけ色々な企業さんに来ていただいて、自分たちの事業運営のために、立場的には運ぶごみが増えてもらいたいと思うのが現実ですけども、その中で一般家庭のごみを減らすのに、市民の皆さんにごみ減量の提案をしてもらうこと

は大切なことだと思います。原則的には我々組合としては減量化に向けて協力していきたいと考えています。

(柏崎会長) 他にご意見はございませんか。無いようですので、第2次花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)について皆さんのご了解が得られたものとして審議を終了いたします。ありがとうございます。次、審議の第2項でございます。第2次花巻市一般廃棄物(し尿)処理基本計画(案)について事務局より説明をお願いいたします。その前に5分ほど、休憩といたします。

～ 休 憩 ～

(柏崎会長) ただいまより再会いたします。第2次花巻市一般廃棄物(し尿)処理基本計画(案)について事務局より説明をお願いします。

～ (事務局：清水課長) 第2次花巻市一般廃棄物(し尿)処理基本計画(案)について説明 ～

(柏崎会長) ただ今事務局から説明がありました。前回、出された処理計画(素案)をそのまま案として提案したいということです。これにつきまして皆様のご質問等、ごさいますでしょうか。

(今野委員) 市が考えるし尿の減量化とは、具体的にどのようなことなのか。し尿の減量化とは何でしょうか。

(清水生活環境課長) 減量化ということではなく、し尿の適正処理とご理解ください。し尿につきましては、どちらも減量化は難しいと思います。適正処理ということでの基本方針でございます。

(今野委員) あくまでも浄化槽を水洗化して、生活排水をきれいにすることを目標としているということですね。わかりました。

(柏崎会長) その他、ございませんでしょうか。これまで発言されていない方、何かございませんでしょうか。ないようなので質疑を終了いたします。以上で第2次花巻市一般廃棄物(し尿)処理基本計画(案)について審議を終了いたします。

以上をもちまして、審議会といたしましては今回諮問された、第2次花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)及び第2次花巻市一般廃棄物(し尿)処理基本計画(案)を原案のとおり答申したいと思います。よろしいでしょうか。(委員から「はい」との声あり) ご了解が得られました。ありがとうございます。委員の皆様、ご苦勞様でございます。以

上をもちまして審議を終了いたします。大変、ありがとうございます。暫時休憩に入ります。

(柏崎会長) 再会いたします。ただいま、皆様方のお手元に上田市長に答申する内容案を配布いたしました。これについて事務局より説明をお願いします。

(事務局：清水課長) 慎重なご審議をいただきましてありがとうございます。この答申案、答申の原稿になりますけれども、今回の計画について「原案どおり答申します」ということをご了承いただきたいと思います。それではこれから市長をお迎えします。

## 7 答 申

(事務局：山口補佐) それでは次第7の答申に入りたいと思います。上田市長、柏崎会長、その場にてご起立願います。それでは柏崎会長から上田市長へ答申書を手渡していただきます。

(柏崎会長) 平成28年3月8日、花巻市長上田東一様、第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）及び第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画（案）について、平成28年3月8日付け、27花生活第228号で諮問ありました第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）及び第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画（案）につきまして原案どおり答申いたします。花巻市廃棄物減量等推進審議会会長柏崎吉光。よろしく願いいたします。

(上田市長) ただいま、第2次花巻市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）及び第2次花巻市一般廃棄物（し尿）処理基本計画（案）につきまして答申いただきまして誠にありがとうございます。皆様の答申に基づきまして計画を策定し、この10年間、この計画に基づいて、ごみ及びし尿の処理をしていきたいと考えております。お忙しい中、貴重なお時間をいただきまして、答申賜りましたこと、お礼申し上げます。今後とも皆様のご指導をよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

(事務局：山口補佐) 以上をもちまして花巻市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。長時間にわたり、ご審議いただきまして、大変ありがとうございました。